

京都春季選手権水泳競技大会 2次要項

京都水泳協会競技委員会

1. 競技について

- (1)本競技会は、2019年度公益財団法人日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2)競技進行は、原則タイムスケジュールに従って行う。
- (3)全競技、タイムレース決勝方式にて実施する。
- (4)全競技、8レーンで行う。
- (5)招集は、競技開始20分前から行う。招集所で水着、テーピング、商業ロゴマークの確認を行う。
- (6)競技を棄権する場合は、所定の届出用紙にて当日午前9時までに大会本部に届け出ること。
午前9時以降は、棄権料3,000円を添えて棄権届を提出すること。なお、無断で棄権した場合は、罰金3,000円を別途徴収する。
- (7)全競技、レーン紹介を行う。
- (8)ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (9)50m～200mの自由形・平泳ぎ・バタフライ・個人メドレー各種目は、オーバーザトップ方式を採用する。
- (10)競技成立後は、自レーンより退水すること。
- (11)本大会は SEIKO システムを使用する。詳細については、「8. SEIKO システムについて」を参照すること。

2. 表彰について

- (1)本大会での表彰式は実施しない。ただし、日本、日本高校、日本中学、日本学童の各短水路記録を突破した場合は、別途表彰式を実施する。
- (2)各競技3位までの入賞者には、賞状と副賞のメダルを授与する。
- (3)賞状・副賞の受け取りは、競技終了後、大会本部後方(ウォーター 슬라이ダー付近)で行う。

3. 全体スケジュール

- (1)全体の競技予定時間は以下の通りとする。

日時	開門時刻	W-up	公式スタート	競技開始時刻	競技終了予定時刻	閉門時刻(予定)
4月21日(日)	7時30分	B・C 7時30分～ D・EF 12時15分頃～	8時10分	9時00分	19時15分	20時00分

- ①参加人数の都合上、ウォーミングアップは、午前中はB・Cクラスを中心に、午後はD・EFクラスを原則とする。
なお、D・EFクラスが午前中に行う場合は、当日朝、競技委員長(森田 基嗣)に相談の上、許可を得ること。
 - ②場所取りは全チームを対象として朝に行う。なお、午後から来場するチームもあるので、過度の場所取りは行わず、お互いに譲り合うこと。
- (2)競技役員主任ミーティング、控え場所の場所取り入場時刻はそれぞれ以下の通りとする。

日時	場所取り入場	競技役員 集合時刻	競技役員 主任会議	競技役員 全体会議	メドレーリレー オーダー締切	フリーリレー オーダー締切
4月21日(日)	7時25分	8時00分	8時00分	8時15分	なし	なし

- (3)開門に先立ち、控え場所の場所取りは各チーム代表者(コーチ等)1名のみ、2階正面入口(阪急西京極駅方面のスロープ側)からの整列入場を行う。なお、入場整理員の指示には必ず従うこと。

4. プールの使用について

(1)25m短水路プール

- ①水深は1.4mに設定する。
- ②練習は競技開始15分前までとする。なお、練習可能な時間帯がクラスによって異なるため、事前に確認しておくこと。 ※3(1)①に記載
- ③1レーンは、常時ダッシュレーンとする。ただし、スタート側からの一方通行とする。
公式スタート練習は、1～3レーンにて実施する(人数により、順次4レーン以上を増設する場合がある)。
- ④ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。
- ⑤公式スタート練習は、公式スタート開始予定時刻より30分間とする。
- ⑥各レーンのスタート台右側から入水せず、左側より足から入水すること。

5. 会場の使用について

- (1) 選手控え所は、2階選手控所(枠内)、1階フィットネスルーム、1階観客席(エレベーター前)とする。
1階観客席(エレベーター前)への入場については、短水路プール更衣室出入口のみ許可する。
なお、控え場所については以下の通り指定する。

2階エントランス左側 (エレベーター・自販機前)	2階エントランス右側 (長水路プール入口側)	1階プールギャラリー (サブP入場ゲート前)	1階スタジオ
くずは男山、コナミ伏見、ルネサンス山科、HOS OGURA、KSCタナベ、京都イリアス、コナミ八幡、HOS 南千里、履正SC十三、BIG 鶴見、スペックSC、田尻水泳連盟、NSI古川橋、ザバスデルタ、イトマン川西、コナミ西宮、ルネサンス登美、京都大学、立命館大学、奈良県立医大、滋賀医科大学 計21チーム	洛南高校、洛星高校、京都文教高、山城高校、立命館高校、京都外大西高、京都両洋高校、西城陽高校、洛星中学、京都文教中、立命館中学校、アテイン京都、星の子SS、イトマン京都、長岡SS、ゆめパレア 計16チーム	綾部高校、京都 FSC、NSI 福知山、YURISS、ビートまいづる、アイエム舞鶴、セントラル太秦、IM天橋立、綾部 SS、NSI マナティ、附属京都教員、寺田小教員、MountR、海自舞鶴、IBIS、京医水、京都工織大院、パナソニック ES、クボタ、渡辺病院、三菱電機 計21チーム	スイトピア、アクオン、ナカジマSC、京都踏水会、サンスポーツ、城陽SS、コパン宇治、コパンサントウン、ACE 計9チーム

※場所取りは1名のみとする。

- (2) 選手・付添の応援エリアは、1階プールサイドの8レーン側のみとする。2階観客席での応援は禁止する。
(3) 1レーン側プールサイドにコーチ席を設置する。
(4) 折り返し側および1レーン側プールサイドでの応援は禁止する。
(5) プールサイドは、選手・コーチ等の上履き(シューズ・サンダル・スリッパ等)の使用を禁止する。必ず素足になって移動すること。
※大会役員・競技役員は、靴底が白い上履きに限り使用を許可する(スリッパの使用は禁止する)。
(6) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を遵守すること。
(7) 選手・付添エリアには、一般は立ち入ることができない。
(8) 更衣室のロッカーの使用はできない。控え場所としての使用及び飲食は禁止する。
(9) 更衣室の荷物は、競技終了後は必ず持ち帰ること。
※置き荷物は、忘れ物として扱う。また、残った忘れ物は大会終了より2週間程度保管した後、処分する。
(忘れ物は、京都水泳協会事務局にて一定期間保管する。)
(10) 会場設置のコンセントの使用を禁止する。使用が判明した場合、該当使用機材を没収する。
(11) 会場のゴミ箱を使用せず、各自持ち帰って処理すること。
(12) 大会終了後、使用した控所の清掃にご協力ください。なお、全体の後片付けにあたっていないチームは、自団体控所の清掃終了後、すみやかに退出すること。
(13) 大会終了後、館外でのミーティングは禁止する。

6. 注意事項

- (1) 公式掲示板は、2階エントランス入口付近に設ける。
(2) 盗難防止のため、貴重品の保管については、各選手・監督の責任において管理すること。
(3) プログラムは、2階受付にて当日500円にて販売する。
(4) 競技役員用の駐車場は、事前に許可された関係車両のみとする。なお、駐車の際は、駐車許可証を外部より確認できる位置に置くことを条件とする。駐車許可証のない車両があった場合は、当該関係団体への指導を行う。 ※出場団体のバスでの来場・駐車については認めない。
(5) 会場におけるトラブルが発生した場合、当該者の関係所属団体先を確認の上、当該引率責任者による事後対応を行うこと。
(6) 館内での喫煙は禁止する。

7. 保護者等への注意事項の連絡について

- (1) 出場団体の責任者は、以下の点を事前に保護者等に連絡すること。
① 駐車台数に制限があるため、公共交通機関を利用しての来場を促すこと。
京都アクアリーナ周辺に違法駐車される事例が報告されているため、これが判明した場合、競技を止めることもある。

②選手送迎に関する「京都アクアリーナを使用する競技会での送迎等について」を事前に確認すること。

③保護者等の入場方法は、別紙「観覧席入場抽選の実施について」を確認すること。

④ハンカチ、手荷物などでの席の場所取りは禁止とする(立ち見ゾーンを含む)。

⑤危険防止のため、2階観客席前方の透明フェンスにもたれかかっている観戦を禁止すること。

(2) 撮影にあたって

①本大会は、撮影時には撮影許可ビブスの着用が必要となります。撮影許可ビブスは登録団体への販売のみとし、撮影を希望する個人への販売は行いません。撮影を希望される場合は、出場するチーム代表者に問い合わせをしてください。

②京都府内の登録団体については、当日のみ有効の撮影許可ビブス(貸し出し用)は、発行しません。

③京都府外の登録団体については、申込時に事前申請のあった撮影許可証数を別途発行します。引渡しについては出場チーム代表者または引率責任者のみ行えるものとし、受付にて受領申請した上で、事前申請数分をクラブ代表者に渡すものとします。なお、個人からの申請は受付しません。

※この際、預り金として1団体につき一律3,000円を預けること(発行全枚数返却時に返金する)。

※有効期間は、当日(1日)限りです。競技終了後20分以内までに、チーム責任者が必ずご返却下さい。

(3) 盗撮、不審者対応について

近年、各種競技大会において日本水泳連盟や京都水泳協会の目的を逸脱した営利目的・わいせつ目的等によるビデオ・写真などの撮影が行われ、インターネット・雑誌その他の媒体に掲載、販売される事態が散見されております。京都水泳協会としましては、競技大会の円滑な運営と選手保護・育成のため、撮影に関する一定のルールを設けております。(以下、一部抜粋)

カメラ・ビデオ・携帯電話等による撮影については、撮影許可申請を出され、許可された方のみ、撮影ができます。ただし、各階控え所周辺の撮影は一切禁止としています。

撮影対象が競技会方針と異なると思われる場合は、記録内容の確認を求めます。

①撮影対象が競技会方針と異なると思われる場合は、記録内容の確認を求めるとする。

事案によっては、警察に引き継ぐこともある。

②不審と思われる行為を受けたり、見かけられたりした場合は、近くの競技役員まで申し出て下さい。

8. SEIKO システムについて

(1)SEIKO 社の全自動計時システムをタッチ板・スタート台等で使用する。

(2)スタート台の斜角度は10° とする。

(3)スタート台にはスターティングブロックを設置する。本大会はスターティングブロックの調整を許可する。

なお、使用にあたっては各自の責任において調整すること。

(4)スターティングブロック部分の固定は確実にを行うこと。固定せずに使用して破損した場合は、実費相当額を負担すること。

(5)本大会は、バックストロークレッジを使用する。使用しない場合は、各レーンの競技役員に申し出ること。

9. その他

(1)本大会は、「超速報」を運用します。スイムレコードモバイル会員様はリアルタイムで速報記録が確認できる。

なお、諸事情により結果が配信されない場合もありますので、予めご了承ください。

上記項目についての選手への事前指導、応援に来られる保護者の方への事前連絡について、各チームの代表者・引率責任者・担当者が責任をもって周知徹底すること。

なお、使用状態が悪い場合、今後の会場使用ができなくなることもある。十分に注意すること。

以上